

令和7年度 第10回市政懇談会(行田地区) 当日のご意見等と回答の要旨

No.	意見・要望等の要旨	所管課 (回答者)	回 答 要 旨
1	<p>【行田市駅の老朽化について】 行田市駅についてであるが、SLを誘致できたことは非常に良かった。多くの方が行田市駅に訪れ、市も跨線橋を綺麗にしてくれたが、残念ながら秩父鉄道が手を付けていない。ホームのひび割れの目立つ柱などの修繕についても秩父鉄道に要望してもらいたい。</p>	<p>企画政策課 (総合政策部長)</p>	<p>行田市駅の跨線橋につきましては、耐震化ということで市で工事をさせていただきました。他にも駅前については、ウォークブルということでこれから5年間かけて整備していく計画です。 ホームの修繕などについても秩父鉄道株式会社と引き続き協議をしてみたいと考えています。</p>
2	<p>【バリアフリー化の補助について】 エクセル行田中央は築35年程で100世帯程が入っているが、半数が高齢者である。こうした分譲マンションについて、他の自治体では共用部分のバリアフリー補助をやっているところもある。ぜひ、エクセル行田中央でもバリアフリー補助などを検討してもらいたい。</p>	<p>商工観光課 (総合政策部長)</p>	<p>個人の住宅につきましては、住宅改修支援事業があります。分譲マンションにつきましても同様ですので、共用部分の改修につきましても、制度的に可能かどうか検討してみたいと思います。</p>

No.	意見・要望等の要旨	所管課 (回答者)	回 答 要 旨
3	<p>【大手流通資本の誘致について】</p> <p>以前、熊谷市の問屋町の流通センターの会社を整理し、大手の流通資本を持ってきたいという話を聞いたことがある。また、周辺の羽生にはイオン、花園にはアウトレットなどがある。</p> <p>行田市市内にも大手の流通資本を呼んでもらいたい。市の税金や雇用も増えるので、ぜひ検討してもらいたい。</p>	<p>企業誘致課 (都市整備部長)</p>	<p>商業施設の誘致につきましては、大きな課題の一つとして捉えています。</p> <p>都市計画マスタープランでは、これまで9 m以上の国道、県道沿いの農地を有効活用できませんでしたが、11年ぶりの見直しにより企業誘致に力を入れています。現在農地の買い上げなどの動きもありますが、物価高騰により施設の建設には至っていない状況です。時間はかかるかもしれませんが、今後施設などもできてくるものと考えています。</p> <p>また、今年度企業の意向・アンケート調査、サウンディング調査を行っており、どのようなインセンティブがあればよいか、どのような補助金や税制措置があれば行田に来たいかといったことを聞いています。来年、再来年度にはそういったところを行田市の強みにしていきたいと考えています。</p>
4	<p>【教育のデジタル化について】</p> <p>教育のデジタル化についてであるが、1時間以上タブレットなどを使用すると目が悪くなるという意見がある。そのへんもぜひ考えてもらいたい。</p>	<p>教育指導課 (学校教育部長)</p>	<p>デジタル端末の仕様についてですが、小中学校では国のGIGAスクール構想により1人1端末ということで、国を挙げてデジタルを推進しているところです。今年度から行田市でも英語教育におけるAIの活用により、デジタルの推進に取り組んでいます。</p> <p>一方で、ご意見のようなお話もありますので、学習内容や目的に応じてアナログやデジタルなどの教科書、教材の使い分けや組み合わせを考慮し、バランスを図っていききたいと考えています。</p>
5	<p>【学校再編に伴う廃校活用について】</p> <p>統廃合で廃校となった学校について、マルシェやコンベンションホール、不足するホテルなどに活用できればと思う。統廃合をぜひ1年でも2年でも早く進めてもらいたい。特に中心市街地については、今後役立つと思うので、早くしてもらえるとありがたい。</p>	<p>教育総務課 (総合政策部長)</p>	<p>学校再編に伴う廃校の活用についてですが、最大20校の廃校が生じます。特に市街化区域については、農地の制約がないため、今後のまちづくりにいかに生かしていくかということが大切だと思います。Bブロックについては、令和12年度の開校を目指すこととしていますので、早め早めに手を打っていききたいと思います。</p> <p>市でも公共施設の再編として公共施設再編・まちづくり準備室を設置し、その準備を進めているところです。また、引き続きご意見等いただければと思います。</p>

No.	意見・要望等の要旨	所管課 (回答者)	回 答 要 旨
6	<p>【JR行田駅からの中心市街地への道路等の有効活用について】</p> <p>行田市には魅力的な忍城址、水城公園もあるので、行田市駅だけでなく、JR行田駅からもプロムナードでの散歩、サイクリングなどできるように道路整備にも力を入れてもらいたい。</p> <p>例えばブドウやモモなどの栽培も始まっているので、1年を通して観光客が来れるようフルーツパークなどを作るのも良いと思う。</p>	<p>都市計画課 (都市整備部長)</p>	<p>まちづくりには、農地の有効活用と効果的な企業誘致が重要と考えています。JR行田駅から街中につながる道路の有効活用、点と点を線で結ぶ観点は非常に重要であり、そうしたことを踏まえてまちづくりを進めていきたいと思えます。</p> <p>また、持田、前谷地区の農業施策や都市計画を総合的に考える中で、より良い土地利用を考えてまいりたいと考えていますので、引き続きご協力のほどよろしくお願ひします。</p>

No.	意見・要望等の要旨	所管課 (回答者)	回 答 要 旨
7	<p>【子育て世代に資する施設について】</p> <p>藤枝市の「れんげじスマイルホール」は、大きな建物の中に遊び場があり、高齢者との交流もでき、天候に関わらず体力づくりができる施設である。行田市では今後廃校になる学校が出てくるので、体育館などを活用してこうした施設を作ってもらいたい。</p> <p>次に熊谷市の立正大学内にある「子育て支援センターベアリス」である。市外の人でも利用できる、施設の中でも外でも遊べ、学食も使えるため、子どもの昼食などを考えずに一日過ごすことができる。ものづくり大学の中にも同様の施設ができれば、わざわざ他市に行かなくても子どもと過ごすことができるので、検討してもらいたい。</p>	<p>子ども未来課 (総合政策部長)</p>	<p>さきたま古墳公園の施設整備については、これから進めていくところですが、ご紹介いただいた藤枝市も参考にさせていただきながら進めてまいります。具体的な設備・内容などについては、これから検討していきますので、その中での材料にさせていただきます。</p> <p>立正大学内の子育て支援センターベアリスにつきましても、確認させていただきます。その上で、ものづくり大学の施設が市民の方でも利用できるのかという点も含めて、市民の方が利用できる可能性についても、ものづくり大学に協議、提案していきたいと思います。</p>
8	<p>【民生・児童委員について】</p> <p>民生委員の担い手が減ってきている。今年度改選の時期であるが、民生委員不在の地区が出ないように市からも声掛けなどをしてもらいたい。また、民生委員として選挙時の立会人をしていりますが、投票所環境の格差が大きすぎる。特に小学校と公民館では暑い時期、寒い時期での差が大きい。小学校から公民館、商工センターなどに場所を変えることなども検討してもらいたい。</p>	<p>地域共生社会推進課 (総合政策部長)</p>	<p>市でも民生・児童委員での欠員の状況を把握させていただいています。自治会組織と同様に、地区の皆さんに支えていただき、大変なご負担をいただいています。民生委員の皆様のご負担を軽減するためにも、できるところは効率化していくなどして、改善するよう努めてまいりたいと思います。</p> <p>選挙の投票所についてですが、先般の参議院議員選挙においても非常に暑い中での立ち合いをお願いすることになりました。商工センターや公民館には空調がありますが、小学校の体育館は現在空調は入っていません。非常に過酷な状況ですので、空調が整備されている教室を活用するなどの可能性も探りながら、皆様のご負担を軽減できるよう努めてまいりたいと思います。</p>

No.	意見・要望等の要旨	所管課 (回答者)	回 答 要 旨
9	<p>【行田市の観光施策について】</p> <p>観光に関する話がなかったが、パレオエクスプレス、行田の桜、田んぼアートの他にも、忍城や埼玉古墳群などを上手に使えば観光資源になる。行田市駅を中心とした「まちなかウォーク」は市内全体に波及するものなのか、ここだけのものなのか。</p> <p>また、行田市駅を降りたときに大きな地図があるが、向きが逆向きであり、初めて行田に来た人にとっては分かりにくいものになっている。。市が作ったものではないが、こうした状況を踏まえ、市における行田の観光産業の未来をどう考えているのか。</p>	<p>商工観光課 (環境経済部長)</p> <p>都市計画課 (都市整備部長)</p>	<p>行田市は埼玉県名発祥地でもあり、市内には多くの観光資源が点在しており、県内初となるDMOを設立し、観光を盛り上げるべく取り組んでいます。</p> <p>街中に人を回遊させたいという点から、田んぼアートに来たお客さんをスタンプラリーで中心部に呼び込んでいる他、最近では花手水やプロジェクションマッピングなどで多くのお客さんにも来ていただいています。観光の内容を充実させて、グレードアップしていきたいと考えています。また、インバウンドに関しても力を入れ、海外向けの情報発信も強化しています。</p> <p>今後は、「まちなかウォーク」と連動させて、歩ける観光を充実させていきたいと考えています。行田市は県内でも恵まれた観光資源がある街ですので、より一層力を入れて取り組んでまいりたいと考えています。</p> <p>「まちなかウォーク」についてですが、上位計画として立地適正化計画があります。この計画は、将来的に行田の街中に人口が集中するような施策を展開していきたいというものです。なぜ人口を集中させるかという点、これから迎える少子高齢化の時代においては、ある程度医療施設や商業施設を集中させることがまちづくりに重要であるという、国や市の考え方によるものです。</p> <p>「まちなかウォーク」は単純にいうと、歩きやすいまちづくり、バリアフリーなまちづくりと言えます。歩けるだけでは人は集まりませんので、そういったところに商業施設などを作ることで人口を集約し、これを一つの起爆剤として市内全域のまちづくりに展開していくことが今後重要になるものと考えており、その第一歩として始めた施策が「まちなかウォーク」の事業です。</p> <p>次に、行田市駅前の地図についてですが、確認させていただき、改善できるところは改善させていただきたいと思っております。</p>

No.	意見・要望等の要旨	所管課 (回答者)	回 答 要 旨
10	<p>【橋上駅の改善について】</p> <p>行田市駅は橋上駅であり、階段が多く、高齢者にとっては非常に不便である。橋上駅ではなく、フラットな駅にしてもらいたい。</p>	<p>道路治水課 (都市整備部長)</p>	<p>行田市駅の上り下りがご高齢の方にとって大変だということは十分に承知してま す。いただいたご意見を少しでも施策に展開できるように、どのようにすれば問題 を解消できるか、課題として検討していきたいと思いを。</p>